

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	23220006	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	海のこころ、森のこころ—鯨類と霊長類の知性に関する比較認知科学—	研究代表者 (所属・職)	友永 雅己（京都大学・霊長類研究所・准教授）

【平成26年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究は、霊長類（森のこころ）と鯨類（海のこころ）を対象とする比較認知科学により、人間とは何かを明らかにしていこうとするものである。霊長類に関しては、研究代表者らのこれまでの実績を基礎に多様な調査・研究が進行しており、期待どおりのあるいはそれ以上の成果が生まれている。また、研究成果の積極的な公表も行われている。一方で、霊長類と鯨類と比較認知科学的な検討は、本研究の最も期待されるところであるが、特に鯨類の研究は遅れ気味であるとの感を否めない。論文成果も霊長類が中心となっている。当初予定されていた研究員の雇用を進めることによって、残期間での研究体制が補強され、バランスのとれた研究成果が生まれることを期待したい。